

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4670103482
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 玉里
訪問調査日	平成19年9月20日
評価確定日	平成19年11月26日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日平成 19年 9月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	4670103482		
法人名	医療法人 友志会		
事業所名	グループホーム 玉里		
所在地	鹿児島市玉里団地二丁目5-1 (電話) 099-220-9502		
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会		
所在地	鹿児島市城山一丁目16-7		
訪問調査日	平成19年9月20日	評価確定日	平成19年11月26日

【情報提供票より】(19年 8月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 1月 14日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	13 常勤 10 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 11.6

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り 3 階建ての 2 階 ~ 3 階部分
------	-----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月 25日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.1 歳	最低	75 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	桑波田内科・南風病院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鹿児島市内の住宅地にあり利用者も近隣の方が多い。母体の医療機関が隣接しているため、利用者の急変時の対応が迅速にでき、利用者・家族が安心して生活できている。職員は家庭的な雰囲気作りに心がけ、利用者のケアに取り組んでいる。これからは、同業者との交流を深め、勉強会・相互訪問を重ね、サービスの質の向上に取り組まれることを期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前は改善課題はなかった。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>毎日のミーティングの前に取り組み、職員は外部評価を実施する意義を理解している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>4回運営推進会議として開催されているが、内部の関係者だけの参加になっており、運営推進会議ではない。早急に、外部の人々の参加を促し、外部から見た事業所の取り組み内容や具体的な改善を話し合う機会を作られることを期待します。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族からの意見・相談などは、職員間で共有しているが、病院受診など家族の要望に応じて、柔軟に送迎を支援して本人・家族の満足度を高めることを期待します。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>事業所として町内会に加入されていないので、町内会に相談し加入し、利用者が地域活動に参加できる機会をつくり、地域の人々との交流が深められることを期待します。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境と地域住民との交流の下でのグループホームの基本方針に基づき「地域の中で大切に支える」と、理念の中につくりあげている。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフルームに理念を掲げ、理念を心がけて「心が安らぐ居心地の良い暖かな環境づくり」を実践している。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入っていない。職員が町内の人が多く、町内の行事の情報は、把握できている。		事業所が町内会に加入され、利用者が地域活動に参加できる機会をつくり、地域の人々と交流を深められることを望みます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の改善点はなかった。今回の自己評価は、職員全員で取り組み外部評価を実施する意義を理解している。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今までに4回運営推進会議を開催しているが、内部の関係者のみの参加になっている。		運営推進会議を外部の人々の目を通して事業所の取り組み内容や具体的な改善を話し合ったりする機会にすることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者・包括支援センターとの連携は、とっていない。		事業所から市の担当者・包括支援センターへの働きかけを行い、市町村と共にサービスの質の向上に取り組むことを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時報告している。遠方の方には、請求書と一緒に手紙にて報告している。金銭出納は報告し、サインをもらっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時・行事に参加された時に、家族からの意見を聞き、日誌・連絡帳で職員は共有している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人材バンクから経験者を採用している。入職時は、日勤してもらい利用者に馴染んでもらっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の年間計画はなく、外部研修は、職員個人的に参加していることが多い。緊急対応のVTRを自宅で見よう指導している。		外部研修を全職員が平等に参加できるように計画を立て、内部研修で、全職員が研修の内容を共有することを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員は、地域の同業者との勉強会・見学などの交流はない。		地域の複数の同業者との相互訪問・勉強会の機会をつくり、サービスの質の向上に取り組むことを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と一緒に来て見学してもらっている。体験入所を一週間してもらった例もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	蕎麦打ち・羊羹作りを教えてもらったり、ハーモニカを吹いてもらい一緒に歌っている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	猫と一緒に暮らしていた利用者に、現在も居室にて猫と同居させ、心の安定を図っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議で、職員の気付き・意見を聞いて介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月・6ヶ月毎に、見直しをしている。現状に即した対応はしているが、計画の見直しとしての記録をしていない。		利用者の状態が安定していても、毎月新鮮な目で見直しを行い、記録されることを望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体医院への受診支援はしているが、歯科・眼科受診は家族に依頼している。		多機能を活かし、家族の要望に応じて歯科・眼科受診の送迎をされ、本人・家族の満足を高めるよう努力することを望みます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体医院への受診支援はしているが、歯科・眼科受診等は家族に依頼しているため、家族の都合で受診回数・日時になっている。		歯科・眼科など母体医院以外の受診・通院は、家族同行の受診になっているが、家族の希望に応じて職員が代行できる柔軟な支援を期待します。
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化したときの対応について、同意書に家族から記名・捺印をもらっている。主治医・職員の対応は、統一されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	秘密保持についての勉強会はなく意識付けされてない。職員の常識にまかせている。		個人情報保護法の理解に努め、秘密保持の徹底を図られることを望みます。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物・散歩など本人の希望に添えるよう支援している。朝寝坊したり本人のペースで過ごせるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作りは、利用者の希望を聞いて作っている。下ごしらえ・下膳など、できる事は入居者の力を発揮してもらっている。花見の時など、外食を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、利用者の希望に添って入浴できる。拒む利用者には、声かけの工夫や職員と一緒に入浴することによって解決している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ・掃除・食器洗いなど役割を決め、ハーモニカを演奏したり、紙芝居をしてもらって楽しみごとの場面づくりをしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	タクシーで利用者と水族館・公園などに出かけたり、買い物・散歩の希望に添って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵はかけてない。近所の方々の理解を求め見守り・声かけや連絡をもらえる関係を築いている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署との火災想定訓練をしている。地震・水害想定訓練はしていない。非常食・飲料水の備蓄はしていない。		全職員が自信を持って避難誘導できるように、事業所の自主訓練をされることを望みます。非常食・飲料水の備蓄をされることを望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日30品目を取り入れた献立になるように心がけている。歯の無い方・入れ歯が合わない方が多く、利用者の半分が刻み食である。朝食は、職員の都合で毎日パン食である。		理念にも口腔ケアが掲げられているので、歯科受診を薦め入れ歯を作成し、できるだけ普通食を美味しく食べることができるよう支援されることを期待します。また、朝食は、職員の都合を優先されることなく、入居前の利用者の習慣が継続できる支援を期待します。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は、明るく通風も良く、利用者は思いのままにソファに座ったり、横になったりして、テレビを観たり、利用者同士会話をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、自宅から持ち込まれた品物があり、それぞれ居心地よく過ごせるように工夫している。		